

News Release

2026年 4月 27日

リコー、「RICOH Innovation Fund」を通じ、Butlr への追加出資を実施 ～ワークスペースの利用データの高度な可視化により、空間マネジメントの価値創出を加速～

株式会社リコー（社長執行役員：大山 晃、以下 リコー）と米国 Butlr Technologies（代表者：Honghao Deng、以下 Butlr）は、リコーが CVC（コーポレート・ベンチャー・キャピタル）ファンド「RICOH Innovation Fund」を通じて 2024 年 12 月 13 日に出資した Butlr に対し、このたび追加出資を実施したことをお知らせします。

リコーは、ハイブリッドワークの定着により、オフィス利用の最適化ニーズが高まる中、デジタルの力で、場所にとらわれない円滑なコミュニケーション、質の高いコラボレーションを可能とする最適な働く環境を提供するワークスペースエクスペリエンス領域を重点成長分野と位置付け、投資および事業開発を加速しています。

Butlr は、温度センサーとデータを活用し、人の存在や動きを高精度に捉える独自の技術を強みとしています。個人を特定しないプライバシー保護を前提に、ワークスペースの状態を可視化・分析することが可能であり、そこから得られる空間情報をインプットとして、業務上の意思決定や運用改善の起点となる基盤を提供しています。

さらに、人の動きに限らず、空間内のさまざまな要素をデータとして捉え、活用できる点も特長です。今後、多様なユースケースにおいて最適化が広がることが期待されています。

リコーはこれまで Butlr と共同開発を進め、その成果として、ワークスペースを統合的に管理・運用するデジタルプラットフォーム「RICOH Spaces^{※1}」に、Butlr のセンサーを連携しました。これにより、会議室や座席などの利用状況をリアルタイムで把握・分析できるようになり、オフィス内の最適配置や運用効率の向上、さらには従業員の生産性向上や快適な働く環境の実現に貢献します。

今回の追加出資は、これまでのプロダクトレベルでの連携が着実に進展してきたことを踏まえたものであり、両社の協業関係を一層強化するものです。今後は、空間データのさらなる活用を通じて、顧客企業のワークスペース改革を支援するソリューションの高度化とグローバル展開を加速していきます。

リコー 経営企画本部 経営企画センター 所長 鈴木 英司のコメント

リコーと Butlr は、未来のワークスペースは従来の延長ではなく、AI を前提にはたらく場のあり方そのものが進化していくものだと考えています。空間全体の状態を的確に捉え、その情報を業務上の意思決定や価値創出につなげていくことが、持続可能で生産性の高いはたらく環境を実現するうえで重要です。リコーは、こうした取り組みを Butlr とともに社会に実装していきます。

株式会社リコー <https://jp.ricoh.com/>

報道関係のお問い合わせ先 広報室 TEL : 050-3814-2806（直通） E-mail : koho@ricoh.co.jp
お客様の問い合わせ先

リコー インテグレーションマーケティング本部 インテグレーション事業部 インテグレーション企画センター 所長 高橋 昌也のコメント

今回の Butlr への追加出資は、日本および欧州における事業立ち上げを着実に進めると同時に、当社のワークプレイス領域における将来的なグローバル展開を見据えた重要な取り組みです。Butlr の熱検知センサーと AI 技術により、人の存在や動きを可視化することで、オフィススペースの最適化や従業員エンゲージメントの向上、さらには創造性の発揮を支援していきます。今後は両地域での展開を通じて得られる知見を活かしながら他地域へも展開を広げ、Butlr とのパートナーシップによる新たな価値創出をグローバルに推進していきます。

Butlr CEO 兼共同設立者 Honghao Deng のコメント

従業員がオフィスで過ごす時間の長さや、施設の建設・運営・維持に伴うコストの増加を踏まえると、設備環境に関する詳細なデータは、投資判断、エネルギー消費、レイアウトおよび設計、保守に関する意思決定にとって極めて重要です。リコーとのパートナーシップを通じて、私たちは企業および商業不動産領域のステークホルダーに、意思決定に不可欠なデータを提供することで、これまで把握できなかったレベルでの可視化を実現します。その上で、物理空間から取得したセンシング情報を自動化されたアクションへとつなげ、快適性、エネルギー効率、運用の最適化を図っています。この一連の取り組みを支えているのが、フィジカル・インテリジェンスを実現する AI およびプラットフォームです。こうした仕組みを通じて得られる知見は、コストやサステナビリティだけでなく、コラボレーション、生産性、快適性など、職場体験のあらゆる側面に影響をもたらします。

(※1) RICOH Spaces

ワークプレイスを統合的に管理・運用するための、スペース(空間)マネジメントのデジタルプラットフォーム。会議室の予約、フリーアドレスのオフィスにおける座席の予約、来客の受付管理などを効率化し、はたらく人によりスマートで働きやすいオフィス環境を提供。

<https://www.ricoh.co.jp/products/list/ricoh-spaces>

■ 関連情報・問い合わせ先

RICOH Innovation Fund

<https://innovation-fund.ricoh/>

■ 関連ニュース

リコー、イノベーションの創出に向けてファンドを設立

https://jp.ricoh.com/release/2023/1108_1

「RICOH Innovation Fund」を通じた出資により、Butlr社と資本業務提携締結

https://jp.ricoh.com/release/2025/0129_1

*社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

｜ リコーグループについて ｜

リコーグループは、お客様の DX を支援し、そのビジネスを成功に導くデジタルサービス、印刷および画像ソリューションなどを世界約 200 の国と地域で提供しています(2025 年 3 月期グループ連結売上高 2 兆 5,278 億円)。

“はたらく”に歓びを 創業以来 85 年以上にわたり、お客様の“はたらく”に寄り添ってきた私たちは、これからもリーディングカンパニーとして、“はたらく”の未来を想像し、ワークプレイスの変革を通じて、人ならではの創造力の発揮を支え、さらには持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

詳しい情報は、こちらをご覧ください。

<https://jp.ricoh.com/>